令和6年度　沼津市地域公共交通計画スケジュール（案）

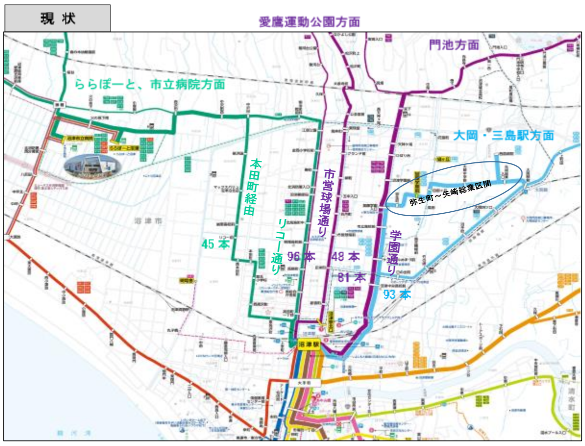
利便増進実施計画に関係する取組み（赤矢印）

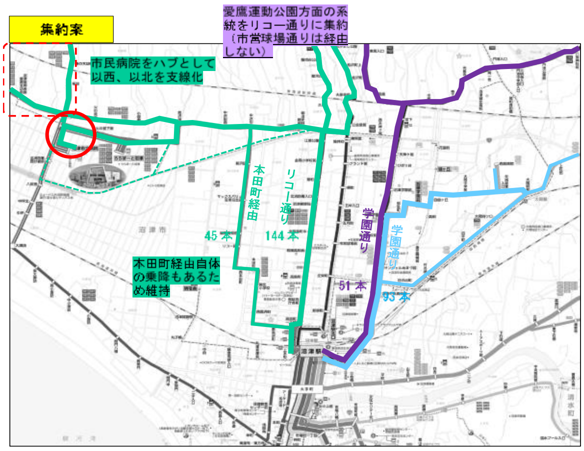
種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
		令和6年度												
地域公共交通協議会				【第1回】 ・R7フィーダー審議 ・運行状況把握 ・R6事業確認			予算要求				【第2回】 ・退出路線等協議 ・自主運行等協議 ・幹線事業評価　等			
交通まちづくり検討部会		【第1回】 ・R6事業内容確認 ・利便増進計画					【第2回】 ・R7事業検討 ・利便増進確認			【第3回】 ・計画中間評価 ・利便増進確認				
利便増進実施計画		個別協議								計画案作成	運輸局等確認	計画策定 国申請	（認定）	4／1運行開始
Ⅰ－①	路線の集約・再編													
Ⅰ－②	公共交通軸における運行頻度の確保													
Ⅰ－③ Ⅱ－③	公共交通軸における運行時間帯の拡大 タクシーの活用	共創P応募　交付決定	プロポ発注	契約	タクシーメータ分析	運行計画検討	事業者調整	周知・PR	実証運行			検証まとめ		
Ⅰ－④	乗務員確保対策	対策検討	（随時対応）											
Ⅱ－①	住民協議会支援	庁内打合せ	（随時対応）											
Ⅱ－②	自主運行等検討						次年度 運行計画素案	運行計画地元同意	学校協議		運行計画承認			
Ⅲ－②	沼津駅バスターミナル発ダイヤ調整													
Ⅲ－③ ④⑨	バス停位置・環境改善 （危険バス停改善） （バス停表示の統一） （サイクル＆バスライド）		関係者協議											
Ⅲ－⑥	デジタルサイネージの設置（片浜駅）		伊豆地域協議会 承認	契約	資機材 手配	工事	供用 開始							
Ⅲ－⑧	利用しやすい運賃体系への見直し													
Ⅲ－⑩	バスターミナルの環境改善（沼津駅シェルター設計）	業務委託 発注	契約											
Ⅳ－①	路線図・時刻表作成								発注	入札　契約			完了 配布	
Ⅳ－②	企画乗車券・共通定期券の検討													
Ⅳ－③	バスイベントの開催（小学生・大人MM）		大人向けMM				出前講座（小学校）			大人向けMM				
Ⅴ－②	新技術の検証 （自動運転） （路車・走行空間） （効果検証）	交付決定	応募申請 関係者協議		交付決定・契約 設計図作成 機器設置検討	準備 工事発注 機器設置	契約 事前測定	サイン施行		実証運行 本測定	サイン撤去 検証まとめ	国報告 国報告		
Ⅴ－⑤	路線バス利用者の確保 （駐車場連携、移動利便性向上）	3月末　プロポ 内示		契約	モビリティデータ プラットフォーム 構築			アプリ連携		利用実証		サービス 提供		R7以降 更なる利用促進策
沼津駅南口駅前実践広場					実証実験						整備			
実践広場前南北地上横断化		設計 発注	契約　着手					工事 発注	契約	着手			供用 開始	

資料２－１

１．①路線の集約・再編の事業概要

沼津駅と北部方面を結ぶ路線については、複数の路線が散在していることから、各路線の運行頻度が十分に確保できていない。このため、利用実態に基づき路線の集約を行い、運行の効率化を図ることにより、運行頻度の高い公共交通軸を形成し、サービス水準の向上を図る。

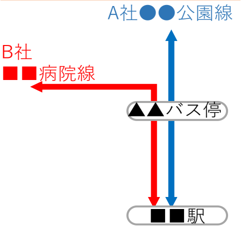




２．②公共交通軸における運行頻度の確保

都市的居住圏内における路線の集約等により、公共交通軸の運行頻度を確保するほか、利用しやすいダイヤに調整し、 サービス水準の向上を図る。

現状



▲▲バス停のダイヤ

時	●●公園線
10	15　30
11	15　45
12	10　25　55

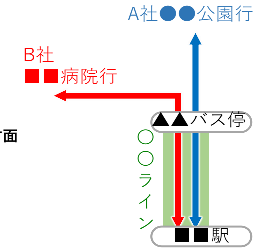
A社が7便

時	■■病院線
10	5　30　50
11	10　30
12	5　20

B社が7便

重複区間を〇〇方面として集約

集約による運行頻度確保



時	〇〇方面
10	5　15　30　30　50
11	10　15　30　45
12	5　10　20　25　55

同時刻発車

運行間隔30分

■■駅～▲▲バス停はすべてのバスが停車します。

同時刻の発車や、運行間隔を調整

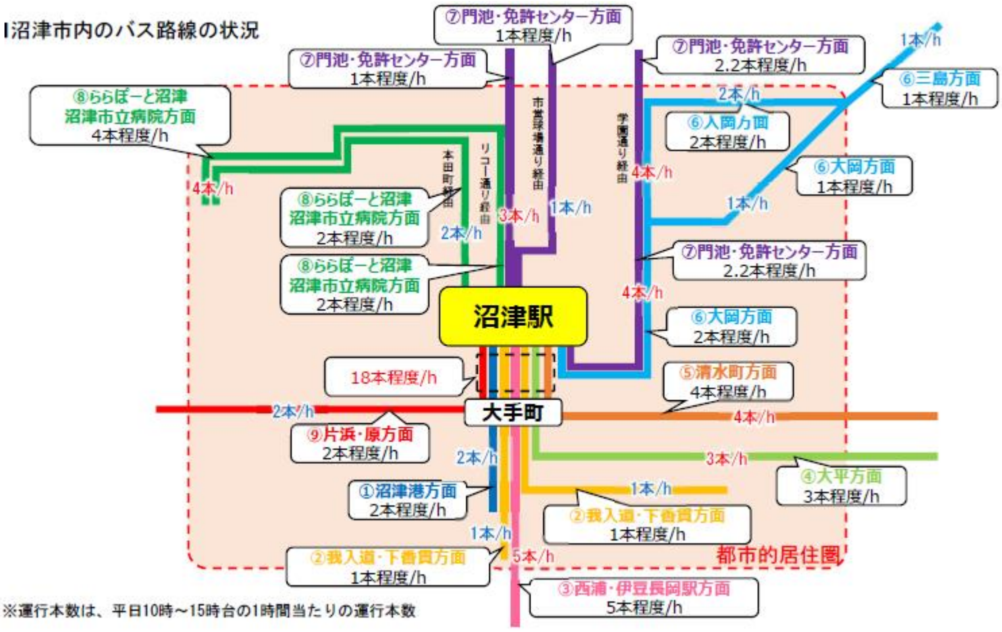
毎時同じ時間に発車するパターンダイヤ。利用者にわかりやすい

時	〇〇方面
10	0　15　30　45
11	0　15　30　45
12	0　15　30　45

利便性を向上しつつ、各社１便を効率化

■■駅～▲▲バス停はすべてのバスが停車します。

参考：沼津市内の
　　バス路線の状況
　（R5 作成資料より）



今年度は新たにバス路線の補助を５路線拡大し、利用者の移動手段の維持・確保に積極的に取り組んでいる。（追加路線：東海道線、拓南東線、運転免許センター線、北小林線、下香貫循環線）

資料２－２

Ⅰ－③公共交通軸における運行時間帯の拡大

Ⅱ－③多様なニーズに対応したタクシーの活用

●公共交通における運行時間帯の拡大・タクシーの活用について

１．事業概要

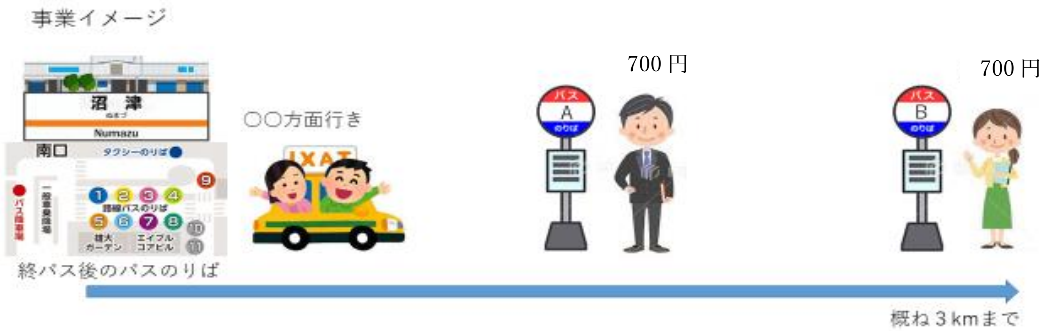
2024 年問題（運輸事業における働き方改革）に起因し、路線バスの最終運行時間が切り上げられ沼津駅を 20 時台に終了する路線バスが増えている。しかし、市民等からは夜間帯の運行や増発の要望があることから、路線バス終了後においてタクシーを活用した乗合タクシーの実証運行を実施する。

充当財源である「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（共創モデル実証運行事業・補助率 2/3）」について５月中旬に内示を受けたため、この補助金を活用し事業を行う。

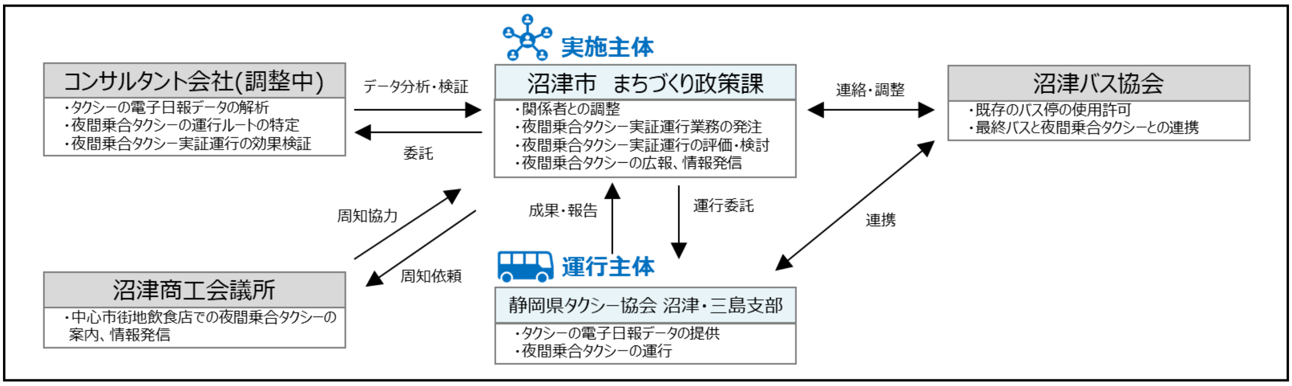
⑴調査検討業務委託

データ分析による運行地区の選定、夜間乗合タクシースキーム検討調整、実証運行 PR、効果検証等、PR チラシ作成印刷

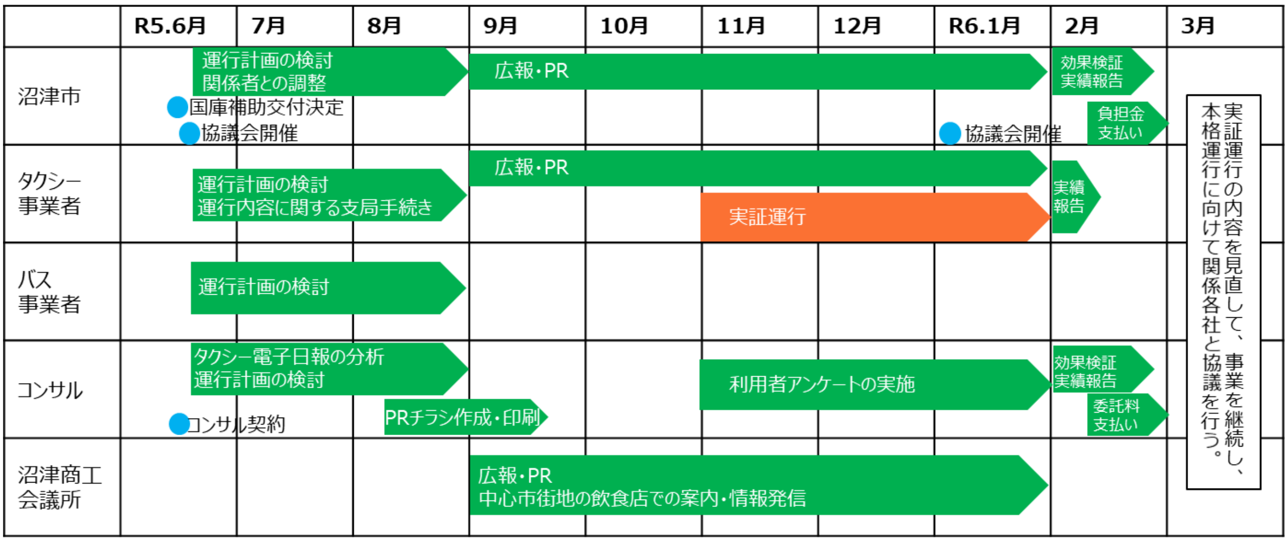
⑵乗合タクシー運行負担金



２．実施体制（案）



３．スケジュール（案）



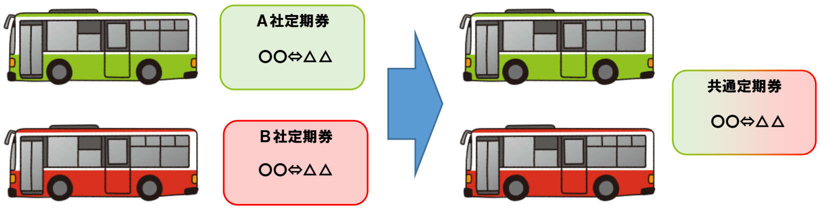
Ⅲ－⑧利用しやすい運賃体系の見直し
Ⅳ－②企画乗車券等の検討

資料２－３

Ⅰ．利用しやすい運賃体系の見直し・企画乗車券の検討について

複数事業者が同じ経路を運行している、または経由する停留所が同じ場合であっても、定期券については、事業者毎に発行されており、同じ路線を運行する他事業者のバスを利用できない等、利便性に課題がある。

そのため、定期券利用者の利便性向上・利用者数の増加を図るため、令和５年度に引き続き市南部地区（西浦線・沼津静浦長岡線）の共通定期券化の検討を行う。



7	0	20	40
8	0	20	40
9	0	20	40
１０	0	20	40

Ａ社便　Ｂ社便

定期券を持つ利用者はその会社が運行する便しか利用できず、最大40分待つことに

7	0	20	40
8	0	20	40
9	0	20	40
１０	0	20	40

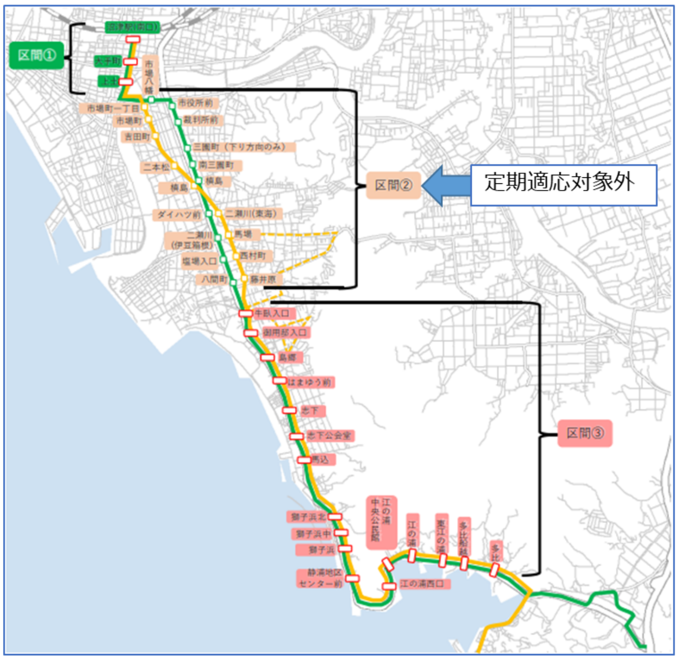
Ａ社便　Ｂ社便

定期券を持つ利用者はどちらの会社の便も利用でき、待ち時間が半分に短縮。

２．市南部地区（西浦線・沼津静浦長岡線）の共通定期券化（企画乗車券）の検討

令和５年度に、下記路線について共通定期券化した場合の収支シミュレーション等を行った。結果については、今後、個別協議にて共有し、共通定期券化の協議・検討をすすめていく。

○検討対象路線
伊豆箱根バス㈱「沼津静浦長岡線」、㈱東海バス「西浦線」
○定期券対象区間：沼津駅～多比
※運行路線が異なる区間は定期券適用対象外
　八間町～市場八幡（伊豆箱根バス）及び藤井原～市場町一丁目（東海バス）



<分析について>

事業者が想定する運行頻度において、共通定期券化を導入した場合の収支シミュレーションを行う

案①3本/時間
伊豆箱根バス2本/時間
東海バス　　1本/時間

案②4本/時間
伊豆箱根バス3本/時間
東海バス　　1本/時間

事業採算性を考慮した按分率を検討
運行本数を基に売上按配率整理

上記、シミュレーションを実施したうえで

共通定期券の販売金額をシミュレーション検討
(例)
定期券販売額⇒
1.3倍…1.5倍…etc

－その他－
利用者が増えた場合の感度分析⇒
現在の収支状況と比較

Ｒ５年度実施

検討結果をバス事業者へ共有
事業採算性に考慮し共通定期券化を図る

Ｒ６年度検討

資料２－４

Ⅳ―③バスイベントの開催

１.モビリティ・マネジメントについて

過度な自動車社会から公共交通や自転車等を賢く利用する方向へ自発的に転換を促す取組として、本市では、市の出前講座等を活用し、モビリティ・マネジメント教育を実施している。

今年度は、MM パンフレットや沼津市公共交通おでかけマップを活用し、市の出前講座やバスイベントにて利用促進・啓発活動を行う。また、啓発用ノベルティグッズを作成し、イベント参加者等に配布予定。講座やイベント後にはアンケート調査を実施し、MM の効果検証を行う。

２.子ども向けの講座

・紙芝居を用いて、バスの乗り方、時刻表の見方、バスを利用するメリットについて説明。
・バスを用いた実車利用講座は、バス事業者協力のもと実施（乗り方説明等）
・小学生の保護者向けに QR コードを利用したアンケートを配布し、公共交通やクルマ利用に対する意識の変化があったか等の調査を実施する。

「令和５年度小学生講座」

↑モビリティ・マネジメントパンフレット

３.大人向けバスイベント

・７月６日（土）：Ｊ３アスルクラロ沼津ホームゲームのイベント時に啓発活動を実施予定。
（富士急シティバス協力のもと実施。）
・イベントでは、バスの乗車体験を行った後、バスの乗り方、バスを利用するメリットについて説明。
・イベント終了後は、イベント参加者に QR コードを利用したアンケート協力を依頼する予定。

「令和５年度ホームゲームイベント」

資料２－５

自動運転実証実験について

１．背景と目的

本市では令和元年度より静岡県が実施する『しずおか自動運転ＳｈｏｗＣＡＳＥプロジェクト』と連携し、沼津駅―沼津港の拠点間の交通ネットワーク強化や、近年のドライバー不足の解消に向けて、自動運転の実証実験を実施している。昨年度は国土交通省より採択を受け、本市が主体となり、自動運転実証調査事業と連携した路車協調システム実証実験を行った。

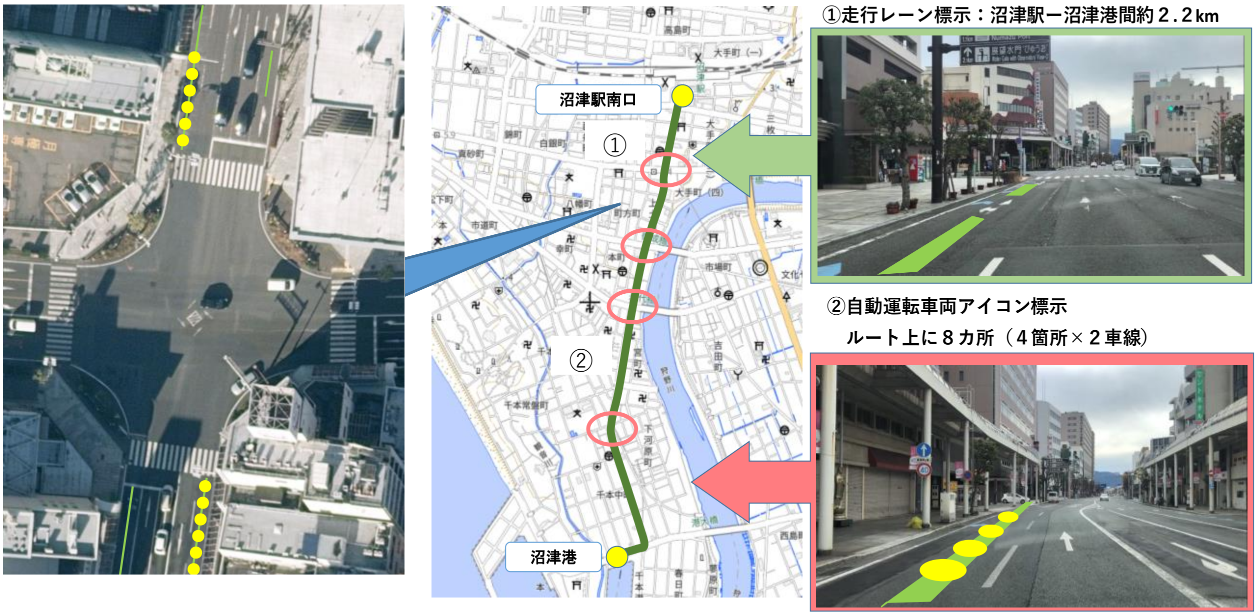
この度、自動運転の走行空間実証実験について、国土交通省より採択を受け、新たに自動運転車両を安全かつ円滑に走行させるための道路空間に必要な道路標示を模擬的に構築するとともに、道路標示による効果等の技術的検証を目的とした実証実験を行う。

２．今年度実験内容

自動運転車両が走行するレーンに以下の路面標示を施工し、標示に対する周辺交通量への影響や車両等の挙動変化について分析を行います。

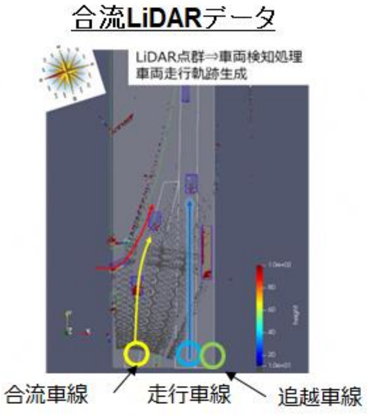
(1)路面標示について

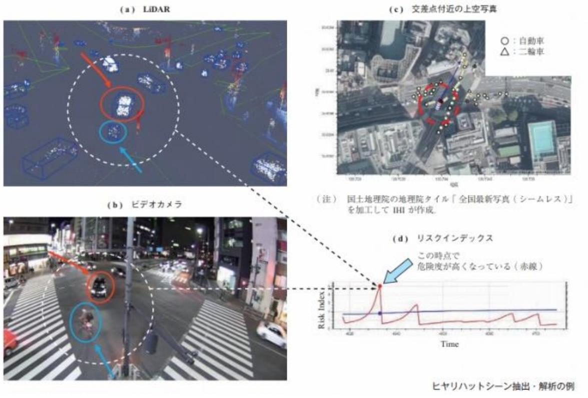
カラー舗装等によって自動運転車両の走行レーンを明示し、一般車両による走行レーンへの進入や停止車両の抑制を図るほか、交差点付近等における車両同士の接触リスクを低減させる。



(2)効果測定等の分析について

電柱等に取り付けるセンサやカメラを使用し、表示前後での車線変更挙動、停止車両有無、交通量、平均速度、滞在時間等を分析・評価する。併せて、手動介入回数（自動運転車両側でのデータ取得）、センサ取得データを用いて周辺交通や危険状況を分析し、表示による効果確認を行う。





資料２－６

Ⅴ－⑤路線バス利用者の確保（駐車場連携、公共交通等を活用した移動利便性向上）

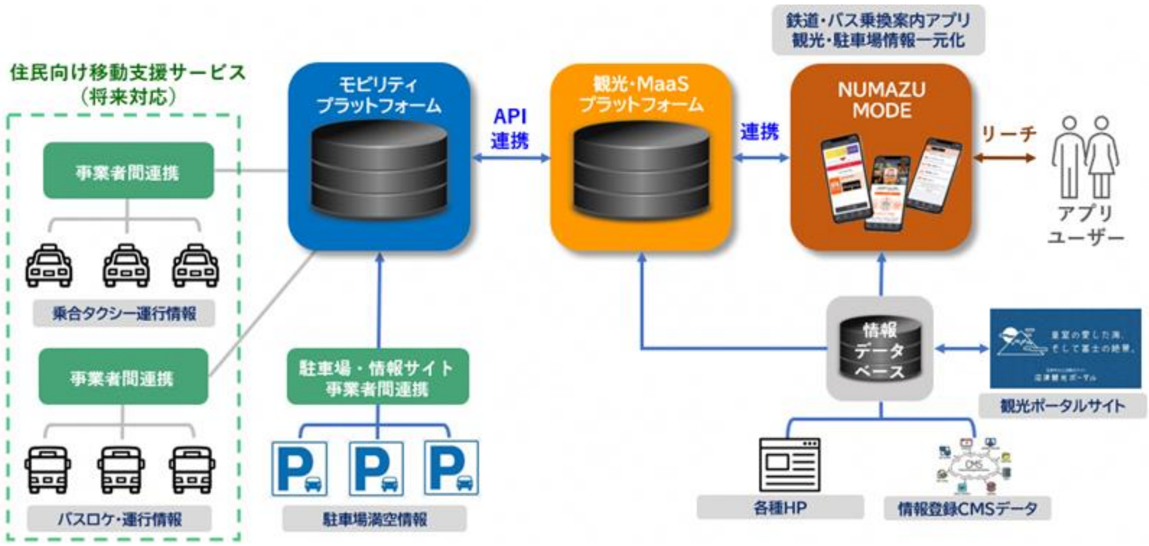
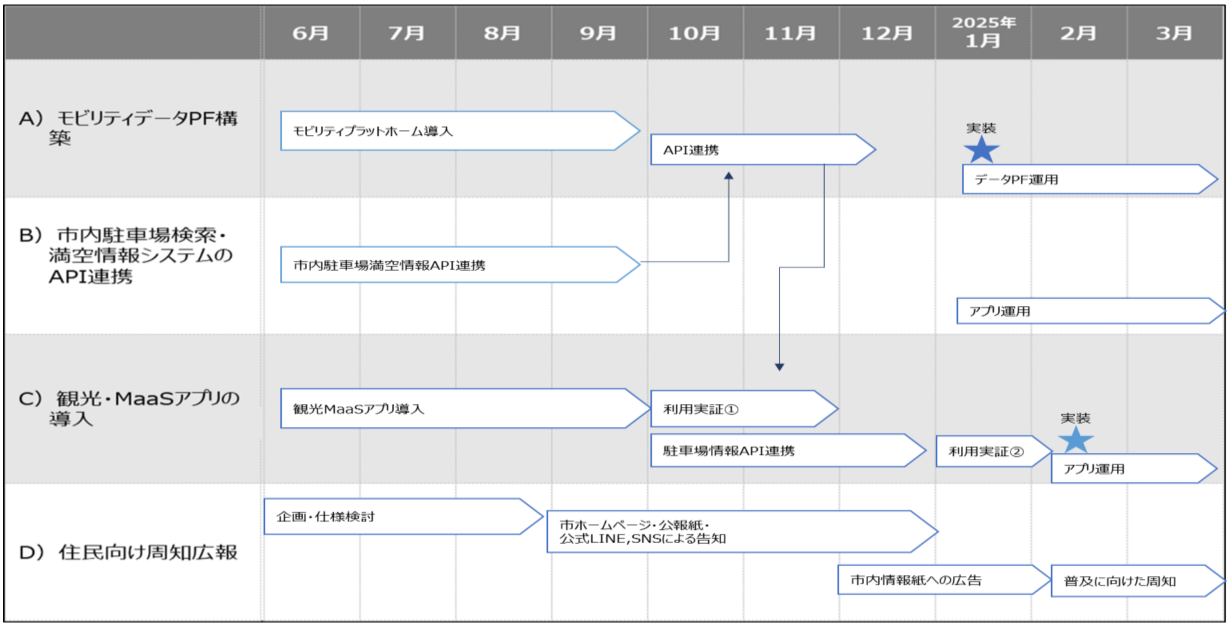
事業者間データ連携等よる沼津市への誘客・周遊促進

１．事業概要

駐車場の規模や事業者に限らず満空情報を統一的に表示できるように可視化を図り、バス停や駐車場等からのシームレスな移動手段の情報提供に加え、域内の観光・イベント情報などにおいても統一されたユーザーインターフェイスで市民及び観光客にわかりやすく提供できるサービスを構築する。

事業の目的としては、鉄道や自家用車での沼津市への来訪促進に加え、域内の駐車場利用分散と共に公共交通（バス）利用も促進し、市民及び観光客の利便性と滞在時間の体験向上を図る。

なお、充当財源についてはデジタル田園都市国家構想交付金（１/２）を活用する。



２．実装計画